

着物保管情報

これから、梅雨に突入していきますので、今月は、カビについてのお話です。カビはどうやってできるのか、その予防をも、考えてみます。



嵯峨乃やの大森です

カビは、胞子（種子のようなもの）が、空気中に浮遊したり、人間の体や衣服に付着して、生育できる場所に移動します。環境がよければ、住みつき、根を張って、生育していきます。これがカビです。第一の原因は、この胞子が存在するということです。

胞子は、「湿度」、「温度」、「栄養」、「酸素」の生育活動条件のもと育っていきます。これが、「カビ繁殖の四大条件」です。具体的な数値を表しますと、「湿度」は50%以上でカビが活動し始めます。そして「温度」は、25~30℃がカビの生育適温です。まさに、このジメジメ梅雨の時期ですね。(^_^)

そして、カビは、「栄養」分として、タンパク質、炭水化物、アミノ酸、脂肪、糖を摂取して生育します。具体的に考えられるのは、衣服に着く、垢、フケ、皮脂、付着した食べ物などです。そして、カビは、「酸素」を吸って生きていきます。

私は、この四大条件のいくつかでも阻止することができれば、防カビが期待できると考えています。カビをなくしてしまうことができなくても、カビの育成を極端に抑えてしまうことができるはずだと考えています。極端に言うと、酸素をなくしてしまえば、カビは死滅します。そうすると、私たちも生きられませんから、これは共倒れになってしまいますね。(^_^)

カビを発生させないということは、カビの発生栄養素の排除や、胞子を着物につけないようにし、適度な湿度（湿度50%以下）を保ち、適度な温度管理（温度が25℃以下に抑える）をすることです。

つまり、タンスの中に**除湿剤**を入れたり、タンスの中の温度が上がらないように**風通し**を良くしたり、片づける前には、**ブラッシング**をして、胞子を払い落としたり、**クリーニング**をして、胞子を洗い流したり、**栄養分**となるものを落として、片づけることです。「胞子」と「四大条件」を抑えることで、カビに悩まされない着物ライフが実現できます。 と、私は考えています。